

2021年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第9回	参加者数	20名	
テーマ	冬の野山のフィールドサイン～動物、里山保全～			
実施日	2022年1月16日	天候	晴れ	
場所	少年自然の家			
コース	開会時刻（13：00） 体育館下ピロティ→分館裏→大門池→大門池広場→はぎのこみち→展望台→体育館下ピロティ 解散時刻（15：00）			
指導内容など 定員40人の事前申し込み制にて実施。 コロナ対策で参加者を2班に分けて実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・コバントビケラの巣の観察。 ・カタツムリの食痕の観察。 ・ノウサギとシカの食痕の違いを、頭骨標本を見せながら説明。イノシシのキバの紹介。 ・ノウサギ、シカ、イノシシの足跡の違いを説明。 ・リスがマツボックリを食べた痕（森のエビフライ）の紹介。 ・ヤママユ、ウスタビガ、クスサンの繭を観察。 ・木の幹に付いたムササビの爪痕を観察。ムササビの食痕の紹介。 ・シカが届く範囲はヒサカキの葉が全てなくなっていることを紹介。 ・テンの毛皮標本の紹介。 				
参加者の声など（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・雪の上のいろんな動物の足跡が見られたのが良かった。 ・エビフライ探しが楽しかった。 ・自分たちだけでは見つけられないものや見るべきものなどをいつも教えていただけるので楽しいです。 ・雪が残った状態は初めてでしたので新鮮でした。 ・とても勉強になりました。 				

観察記録 (観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類)	
植物	ソヨゴ (実)、ヒサカキ、ヤブツバキ (実)、アカマツ
昆虫	アカエグリバ、コバントビケラ、ヤママユ (抜け殻)、クスサン (抜け殻)、ミナミアオカメムシ、ヒメカマキリ (卵)
クモ	ワカバグモ、イソウロウグモ、センショウグモ (卵囊)
動物	シカの足跡・フン・食痕・木の幹についた角の跡、ノウサギの足跡・食痕、イノシシの足跡、ムササビの爪痕、テンのフン、リスの食痕、モグラ塚、タヌキの足跡
野鳥	ヒヨドリ、シロハラ、メジロ、エナガ、コゲラ、ハシブトガラス、シジュウカラ、トビ、キジバト、ジョウビタキ (声)
キノコ	クチベニタケ、ヒトクチタケ
その他	けもの道

ノウサギの足跡の観察



イノシシのキバの話



ムササビの爪痕の観察



シカの食痕の観察

